

## 第2回 ヘテロ・ニューロアナリシス研究会シンポジウム

### 主旨

脳や神経のダイナミクスを捉えるには、何を測るべきか？どう解析・解釈すべきか？等を中心に深く議論し、新しい脳研究の方向性を探ります。

日時：平成25年12月16日（月）13:00～17:00

場所：東北大学医学部1号館6F生体システム生理学研究分野セミナー室

〒980-8575 仙台市青葉区青陵町2-1

<http://www.med.tohoku.ac.jp/access/index.html>

主催：ヘテロ・ニューロアナリシス研究会

共催：科学研究費補助金・新学術領域研究

「ヘテロ複雑システムによるコミュニケーション理解のための神経機構の解明」

### プログラム

13:00～13:40：坂本 一寛（東北大学・電気通信研究所）

「脳・神経ダイナミクスの計測の現状と今後の方向性」

13:40～14:20：片山 統裕（東北大学大学院・情報科学研究科）

「小動物用バーチャルリアリティ行動実験系の現状と課題について」

14:20～15:00：酒井 裕（玉川大学・脳科学研究所）

「神経活動の観測・操作と因果性」

～休憩～

15:10～15:50：三浦 佳二（東北大学大学院・情報科学研究科）

「Hodge-小平分解から見た現代幾何学入門」

15:50～16:30：磯村 宜和（玉川大学・脳科学研究所）

「ラット運動野研究：領域内から領域間へ」

16:30～ : ラボツアー（生体システム生理学研究分野）

～休憩～

18:00～20:00：総合討論（会場未定）

参加費はございません。会場の規模の問題で参加は事前にお知らせ願えますようお願いいたします。

### 問い合わせ

坂本 一寛 022-717-8073 もしくは 022-217-5467

sakamoto\*riec.tohoku.ac.jp \*は@